

組織運営に欠かせないフォロワーシップ

結エデュケーション 取締役 森田 壮

私はこれまで、多くの部下に助けられました。私を助けてくれた部下は、みんな『フォロワーシップ』を発揮してくれました。もちろんですが、私は完璧な人間ではありません。ですので、努力はしましたが、完璧な指導も、完璧な業務指示も、完璧な職場環境づくりもできませんでした。そこで助けてくれたのが、フォロワーシップをいかに発揮する部下でした。

『フォロワーシップ』とは「補佐力・補助力、支援する能力」等と定義づけられます。リーダーひとりではできないことには限界があります。リーダーの足りない部分、サポートが必要な部分をしっかりと見抜き、自ら行動する。そのためには、「観察」「会話」「考え方」が欠かせません。これらを持ってリーダーをフォローすることは、チーム・組織目標達成のために欠かせない行動ですし、リーダーの立場からすると本当にありがたい存在でした。

誤解をしていただきたくないのですが、『フォロワーシップはフォロワー(一般職)だから必要という考え方ではない』ということを念押ししておきます。係長級になっても上司はいます。課長補佐級になっても上司はいます。課長級になっても…と考えると、フォロワーシップはほとんどの方にとって長いキャリア人生を終えるその日まで必要なスキルだと認識してください。

いまの皆さんには周囲の方から何が求められていますか？リーダーから、同僚から、他部署の職員から、後輩から…そんなことを考えてもらい、視野をさらに広げ行動につなげていただければと考えています。お目にかかれることを楽しみにしています。

結エデュケーション 取締役 森田 壮

研修講師 17年目。全国の民間企業・自治体で研修を行っております。
受講生の方と「真摯に向き合う」、受講生同士の「気づきを大切にする」を大切に、研修を行います。

